

小豆島町学校ICTレポート

今秋のイベントでのiPad活用

GIGAスクール事業によるiPadの整備開始から数えて、約8カ月が過ぎました。授業を中心とした普段使い以外でも活用が進んでいます。今回は、最近の2つのイベントでの活用例を紹介いたします。

○潮会（小豆島中学校）

10月30日に、小豆島中学校体育館で潮会が開催されました。新型コロナウイルス感染対策のため、発表学年ごとに観覧している保護者を入れ替え行われました。そこで、会場に入れない保護者の方向けに、発表の様子をオンライン配信して、校舎の1階と2階で中継を行いました。

中継は、体育館2階の観覧席に設置したビデオカメラの映像をパソコンで取り込み、ライブ配信ソフトで配信を行いました。これを校舎側のiPadで再生し、大型モニターに表示することで実現しました。



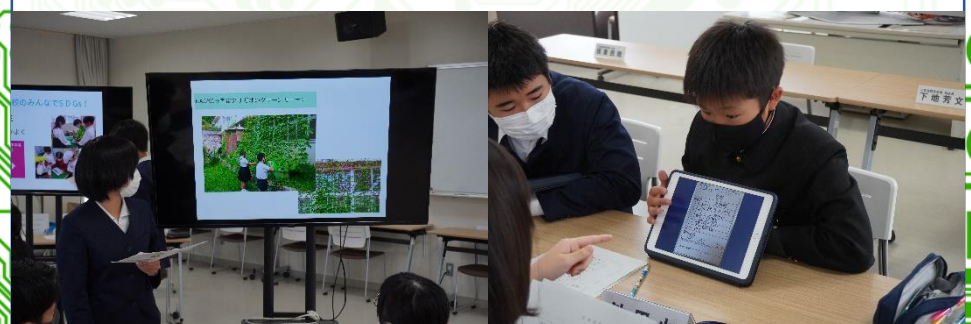
潮会の様子

オンライン配信の様子

○しょうどしま・こどもサミット

11月5日に、小豆島中央高校で「しょうどしま・こどもサミット」が開催されました。今回のテーマは「SDGs」です。小豆郡内の各校の代表者が議論を行いました。小豆島町の各校から代表として参加した小学生や中学生も、自分たちが普段使っているiPadを持ち込みました。高校生や土庄町の子どもたちに向けて、iPadで作ったスライドを使い、学校の取り組みを紹介していました。

また会場に、ポケットWifiを持ち込み、インターネット接続を行いました。子どもたちは、議論の状況に応じて、クラウド上にある資料を取り出し、説明していました。



プレゼンテーションの様子

iPadを使った説明の様子

小豆島町の目標

全児童生徒が1日1時間はiPadを使った授業を受ける